

# 沖縄県名護市における森林環境譲与税の活用について

## ■令和5年度 活用状況（全体像）

区分	令和5年度	基金積立額の活用方針
活用額（基金積立含む）	13,094,000	リクリエーション機能の整備及び市内公共建築物等への木材利用の促進、担い手育成等
譲与額（円）	13,094,000	

## ■令和5年度の具体的な活用状況

区分	事業区分	事業費（円）		事業内容
			うち 森林環境譲与税	
森林整備	公有林整備	1,892,000	1,892,000	効率的な森林施業及び労働環境の改善を図ることを目的に路網整備の推進に取り組むため調査計画測量業務の委託を行い、現地踏査を実施した。
	基金積立	11,202,000	11,202,000	名護市森林環境譲与税積立基金
	合計	13,094,000	13,094,000	

## ■今後の実施計画

### ①主に普及啓発（高校での施業体験、木材の利用普及）

林業に関する学科を有する高等学校において、林業従事者と本市、沖縄県と連携し、森林・林業に関する研修や、林業体験等を行うことで、林業への理解を深め、将来の林業の担い手の発掘・育成を行っていきたい。  
市内の林業従事者及び木工加工業者等と連携し、沖縄県産の木材利用を促進していく。

### ②公共施設整備における木材の利活用

本市で管理する公共施設について、老朽化等により補修、再整備を行う必要のある施設や新たな施設など、今後整備が見込まれる建築物については、担当部署と連携し、森林環境譲与税を活用した国産木材（県産材優先）の利活用が行えるよう取り組んで行く。